

港湾事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	臨港道路整備事業（岩国港 装束～室の木地区）					
実施箇所	山口県岩国市					
該当基準	事業採択後、一定期間が経過している事業（経過措置）					
主な事業の諸元	臨港道路					
事業期間	事業採択	平成16年度		完了		平成32年度
総事業費（億円）	173		残事業費（億円）		123	
目的・必要性	港湾における物流効率化を通じて、産業の立地競争力を確保するとともに、周辺環境の改善を図るため、岩国港の埠頭間を結ぶ臨港道路を整備する。					
便益の主な根拠	臨港道路の自動車交通の円滑化による効果 ・輸送時間短縮による輸送時間費用の削減 ・輸送費用縮減による輸送費用の削減 ・交通事故減少による事故損失額の削減 （臨港道路計画交通量（全線供用時）：15百台/日～66百台/日）					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成23年度				
	B：総便益（億円）	184	C：総費用（億円）	148	全体B／C	1.2
	B－C	36	EIRR(%)	6.0		
残事業の投資効率性	B：総便益（億円）	184	C：総費用（億円）	94	継続B／C	2.0
感度分析	事業全体のB／C 残事業のB／C 需 要（-10%～+10%） (1.1～1.4) (1.8～2.2) 建 設 費（+10%～-10%） (1.2～1.3) (1.8～2.2) 建設期間（+10%～-10%） (1.3～1.2) (2.0～1.9)					
事業の効果等	岩国港の港湾関連交通の時間の短縮、費用の削減等を通じ、産業の立地競争力の確保と周辺の生活環境改善に寄与する。					
社会情勢等の変化	・平成17年3月に神戸航路、平成18年5月に韓国（釜山）航路が、コンテナ定期航路として開設。 ・平成23年7月、室の木埠頭岸壁（-12m）が供用開始。 ・平成24年度内に、岩国飛行場における民間航空再開予定。これに伴い交通量の増加が見込まれる。					
主な事業の進捗状況	総事業費173億円、既投資額50億円。平成23年度末時点 事業進捗率29%					
事業の進捗の見込み	平成32年度に完成予定					
コスト縮減や代替案立案等の可能性	既設構造物前面の海上橋脚基礎の施工に関して関係者調整をした結果、海上施工が可能となり、Ⅰ期区間について、約2億円のコスト縮減が可能となる。					
対応方針（原案）	継続					
対応方針理由	事業の投資効果が確認され、港湾利用者等からも早期完成が強く要望されているため。					
その他	（その他の指標による効果） ・岩国港周辺における物流機能の効率化が促進され、地域産業の競争力の向上を通じ、企業の新たな投資、雇用の確保、税収の増加が期待される。 ・自動車交通円滑化の効果により、排出ガスの低減が図られる。 ・港湾関連車両の適切な通行ルートが確保され、住宅地への騒音や振動等が低減される。					

岩国港 装束～室の木地区 臨港道路整備事業 再評価



平成23年12月
国土交通省 中国地方整備局

1. 事業位置図

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

- 国際拠点港湾
- 重要港湾

日本

響灘

山口県

岩国港

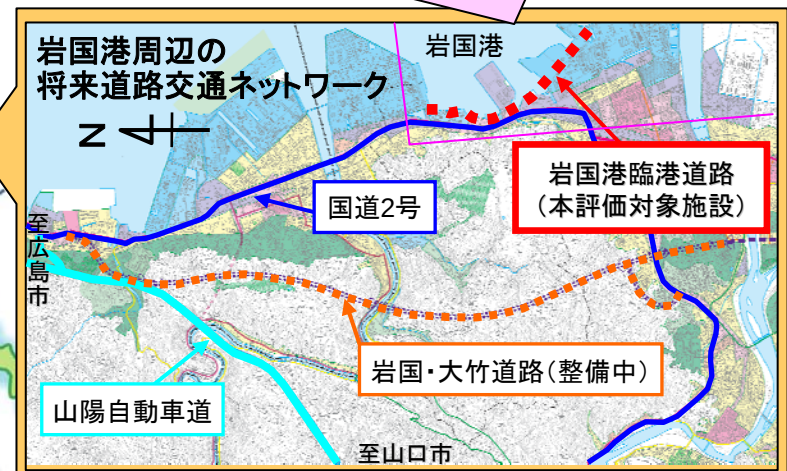
周防灘

小野田港

宇部港

三田尻
中関港

徳山
下松港



2. 岩国港概要

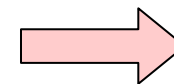
岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○岩国港周辺の主要企業

岩国港周辺には岩国・大竹コンビナートを形成する石油化学や製紙など基礎素材型産業が数多く進出しており、主に装束地区、室の木地区に立地している。



製造品出荷額等は約4,300億円※
(山口県全体の約8%)



約9,000人※の
雇用を実現

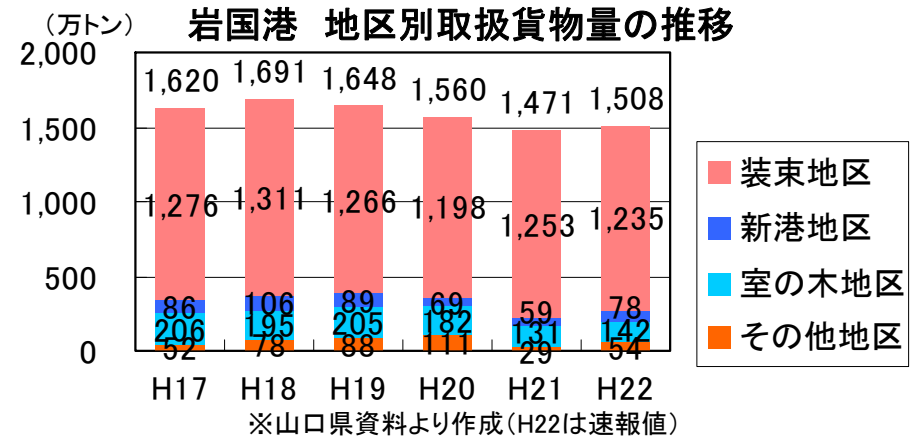
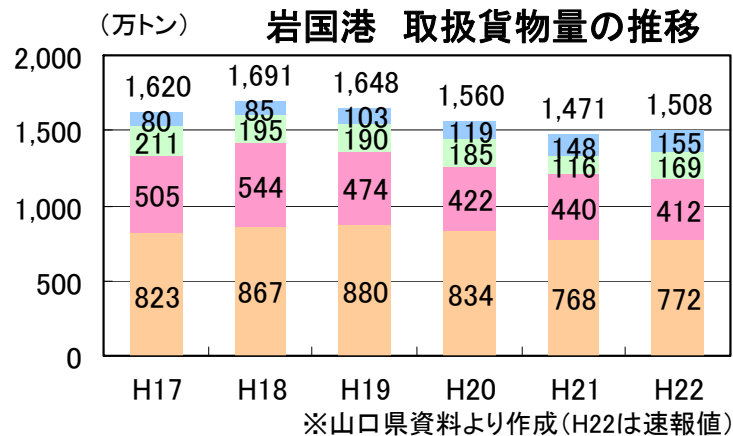
※経済産業省工業統計調査(岩国市と和木町の合計:H21確報値)

3. 岩国港の利用状況

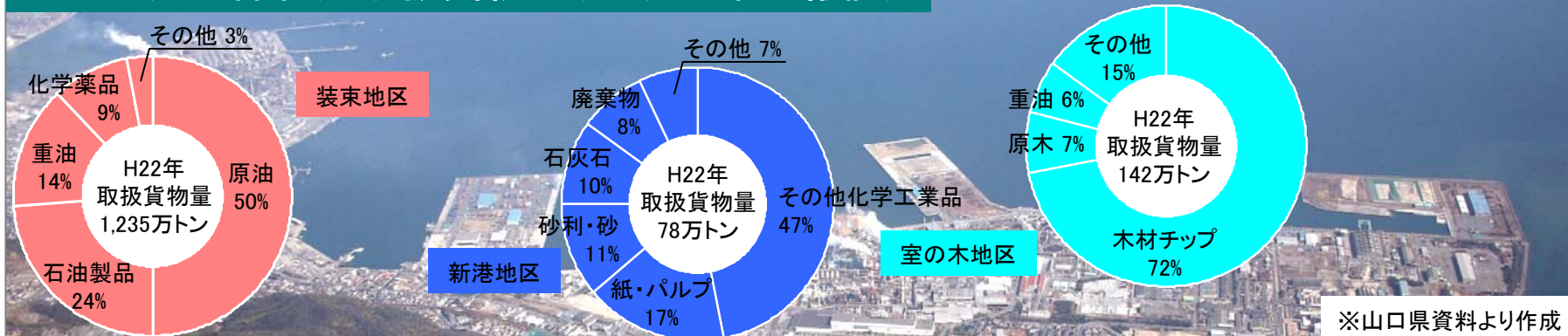
岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○岩国港の取扱貨物量

岩国港取扱貨物量(平成22年速報値)は、約1,508万トンであり、近年は横ばい傾向。
うち、装束地区で約8割を取り扱っている。
装束地区では危険物、新港地区ではコンテナ貨物、室の木地区ではバルク貨物を主に
取扱っている。



○地区別の品目別取扱貨物量(平成22年速報値)



3. 岩国港の利用状況

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

装束地区：危険物（原油等）



室の木地区：バルク貨物（原木等）



新港地区：コンテナ貨物



室の木地区：バルク貨物（木材チップ）



4. 岩国港の課題①

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○港湾物流効率化(陸上輸送アクセスの改善)

- ・岩国港に立地する企業から発生する港湾関連車両は、埠頭間を結ぶアクセスルートがないため、約3万台/日の車両が通行し、混雑している国道2号などを利用せざるを得ない。
- ・そのため、貨物の輸送等に時間を要し、高い物流コストの増加を強いられている。



※交通量・旅行速度は実査結果(H23実施)

4. 岩国港の課題②

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○周辺の生活環境の改善

- ・室の木地区から発生する港湾関連車両は、住宅地内の岩国市道を通行する以外にルートがない。
- ・港湾関連の大型車の通行は、住宅地内における騒音や振動、歩行者の安全など周辺の生活環境に影響を及ぼしている。

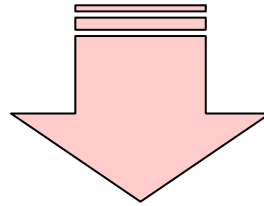


5. 事業の目的

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

【目的】

岩国港におけるふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、産業の立地競争力を確保するとともに、周辺環境の改善を図る。



岩国港装束～室の木地区臨港道路の整備

6. 事業の概要と進捗状況

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○事業の進捗状況

- ・平成16年に事業着手
- ・平成20年9月に現地工事着手（Ⅰ期区間）
- ・平成27年度に暫定供用開始予定（Ⅰ期区間）
- ・平成32年度に事業完了予定

■事業の進捗状況（事業期間：平成16年度～平成32年度）

施工区分	施設名	全体事業費	既投資額	残事業費	進捗率
国	臨港道路	173億円	50億円	123億円	29%

※進捗率は平成23年度末時点



延長2.9kmを3区間（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）に分け、投資効果の早期発現を図るため、Ⅰ期区間を集中的に整備し、H27年度に暫定供用を開始する予定。

7. 交通量の推計

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

○臨港道路の整備効果の算定フロー

岩国港周辺の
発生集中交通量の推計

中国地方の交通ネットワークにおける将来交通量需要
・道路交通センサスを基にしたH42ODによる一般交通

港湾関連
ODを補正

(発生集中交通量
の重複を控除)

分布交通量の推計

岩国港の将来の港湾関連交通量需要

- ・港湾取扱貨物による発生交通量
- ・通勤による発生交通量
- ・緑地訪問による発生交通量
- ・船溜まりによる発生交通量

配分交通量の推計

With時

臨港道路が新たに整備された場合に加え、事業化済みの背後道路ネットワークを考慮して推計

Without時

臨港道路が新たに整備されない場合に加え、事業化済みの背後道路ネットワークを考慮して推計

With時とWithout時の差を臨港道路整備による自動車交通円滑化効果として算定

- ①輸送・移動費用便益
- ②輸送・移動時間費用便益
- ③事故損失額削減便益

7. 事業の効果①

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

臨港道路整備による自動車交通円滑化効果の例

臨港道路の整備により、岩国港周辺の将来道路交通ネットワークにおいて、輸送・移動距離が短縮され、輸送・移動速度が向上する。

事例① 装束地区(化学工場)から新港地区(コンテナ埠頭)へ輸送する場合(合成樹脂等の出荷)

※推計は、岩国・大竹道路の供用を考慮して実施

装束地区から新港地区まで

臨港道路を整備した時のルート →

移動距離: 1.2km

移動時間: 2.1分

平均旅行速度: 34.6km/h

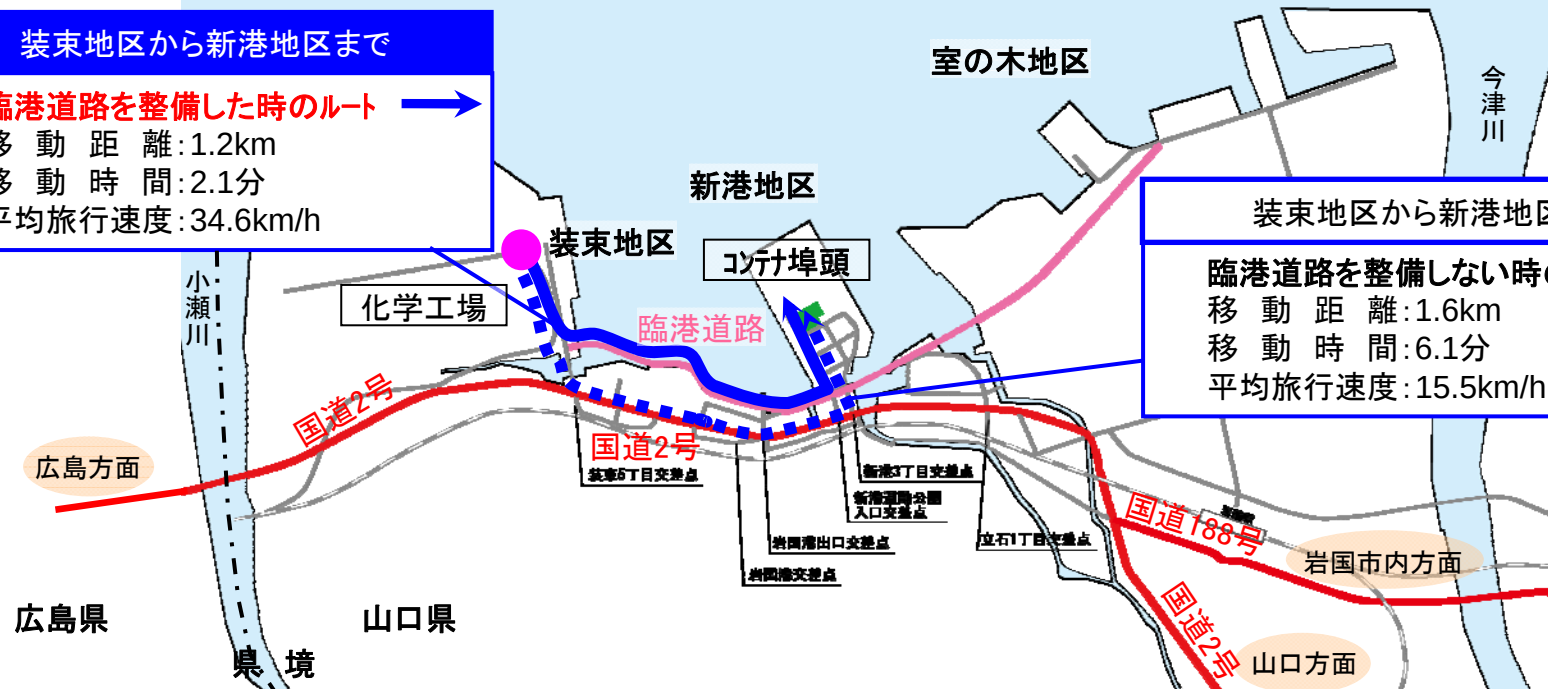
装束地区から新港地区まで

臨港道路を整備しない時のルート ...→

移動距離: 1.6km

移動時間: 6.1分

平均旅行速度: 15.5km/h



岩国港装束地区で生産される工業製品を新港地区へ輸送する場合、臨港道路を利用することにより、輸送距離、時間の短縮が図られる。

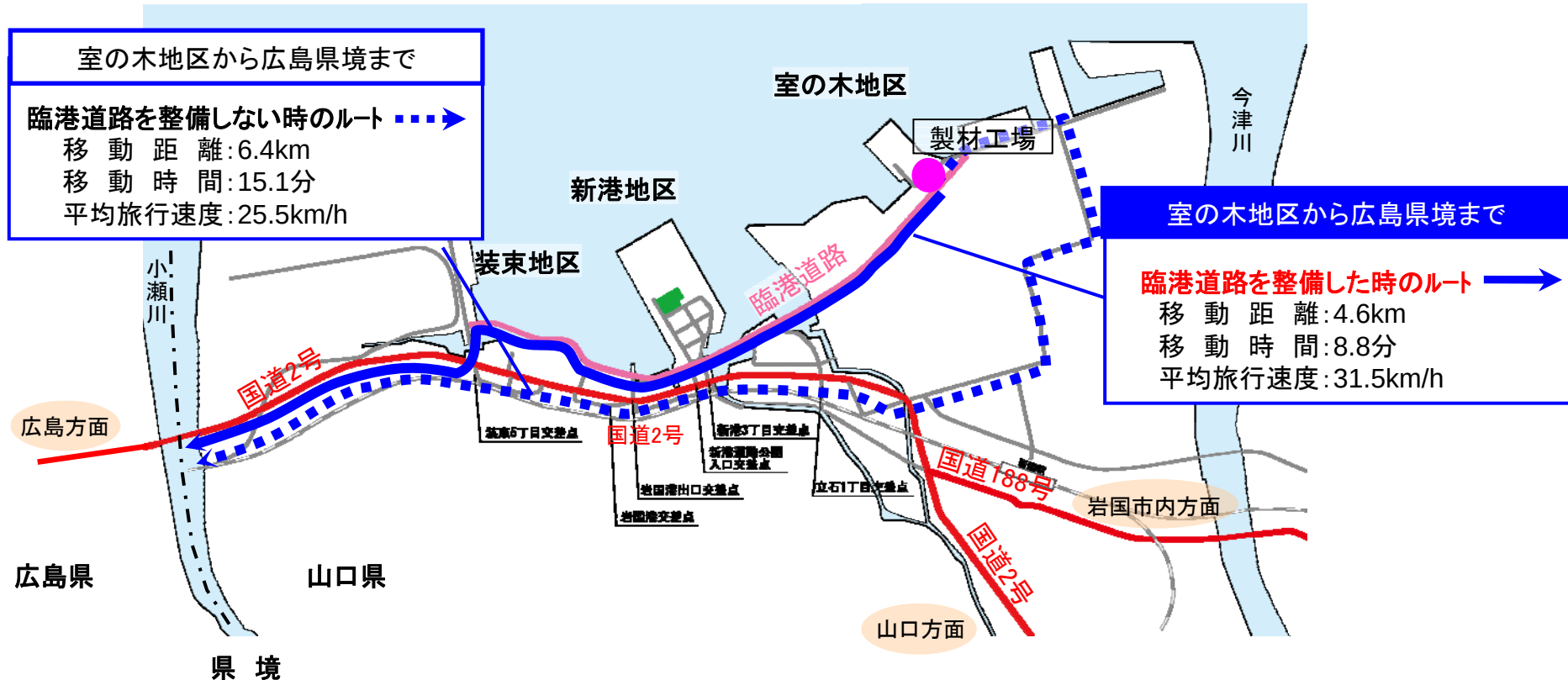
(装束地区から新港地区まで **輸送距離: 約3割短縮、輸送時間: 約7割短縮**)

7. 事業の効果②

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

事例② 室の木地区(製材工場等)から広島方面へ輸送する場合(木材製品等の出荷)

※推計は、岩国・大竹道路の供用を考慮して実施



岩国港室の木地区で生産される工業製品を広島方面へ輸送する場合、臨港道路を利用することにより、輸送距離、時間の短縮が図られる。

(室の木地区から広島県境まで **輸送距離: 約3割短縮、輸送時間: 約5割短縮**)

7. 事業の効果③

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

①輸送費用削減便益

①輸送・移動費用便益＝Without時の輸送・移動費用－With時の輸送・移動費用
ここで、輸送・移動費用＝交通量(台/日)×区間距離(km)×走行費用原単位

②輸送時間費用削減便益

②輸送・移動時間費用便益＝Without時の輸送・移動時間費用－With時の輸送・移動時間費用
ここで、輸送・移動時間費用＝交通量(台/日)×区間距離(km)÷区間速度(km/h)×走行時間費用原単位

③交通事故損失額削減便益

③事故損失額削減便益＝Without時の事故損失額－With時の事故損失額
ここで、事故損失額は港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成23年6月)による。

①輸送・移動費用削減額	Without時	臨港道路未整備時の輸送・移動費用	59.8 億円/年	0.5 億円/年
	With時	臨港道路整備時の輸送・移動費用	59.3 億円/年	
②輸送・移動時間費用削減額	Without時	臨港道路未整備時の輸送・移動時間費用	264.5 億円/年	5.3 億円/年
	With時	臨港道路整備時の輸送・移動時間費用	259.2 億円/年	
③事故損失削減額	Without時	臨港道路未整備時の事故損失額	19.5 億円/年	0.2 億円/年
	With時	臨港道路整備時の事故損失額	19.3 億円/年	

自動車交通円滑効果便益： 6.0 億円/年

※端数処理のため、各項目の金額の差は必ずしも合計とはならない。

7. 事業の効果④

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

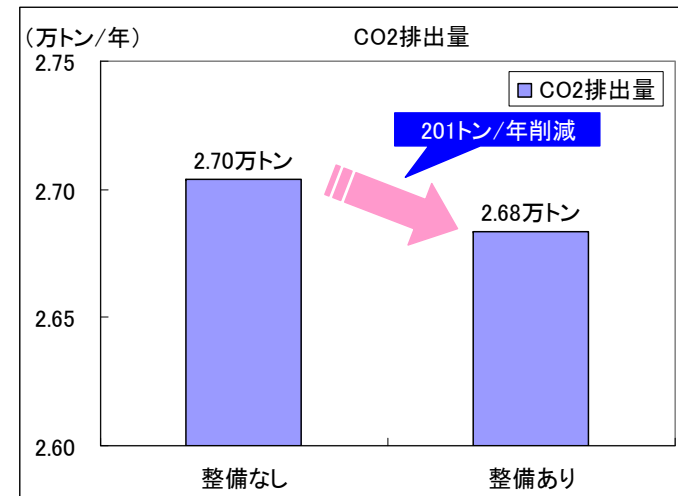
■その他の効果

○産業競争力の強化

・岩国港周辺における物流機能の効率化が促進され、地域産業の競争力の向上を通じ、企業の新たな投資、雇用の確保、税収の増加が期待される。

○環境負荷の軽減

・物流の効率化が図られ、CO₂排出量が年間約201トン削減する。



○円滑な交通環境の確保

・混雑している国道2号等を利用する港湾関連交通が臨港道路等を利用することにより、港湾関連交通と一般交通が適切に分離され、円滑な交通環境の確保に資する。

○周辺環境の改善

・港湾関連車両の適切な通行ルートが確保され、住宅地等への騒音や振動等が低減される。

8. コスト縮減等の方策

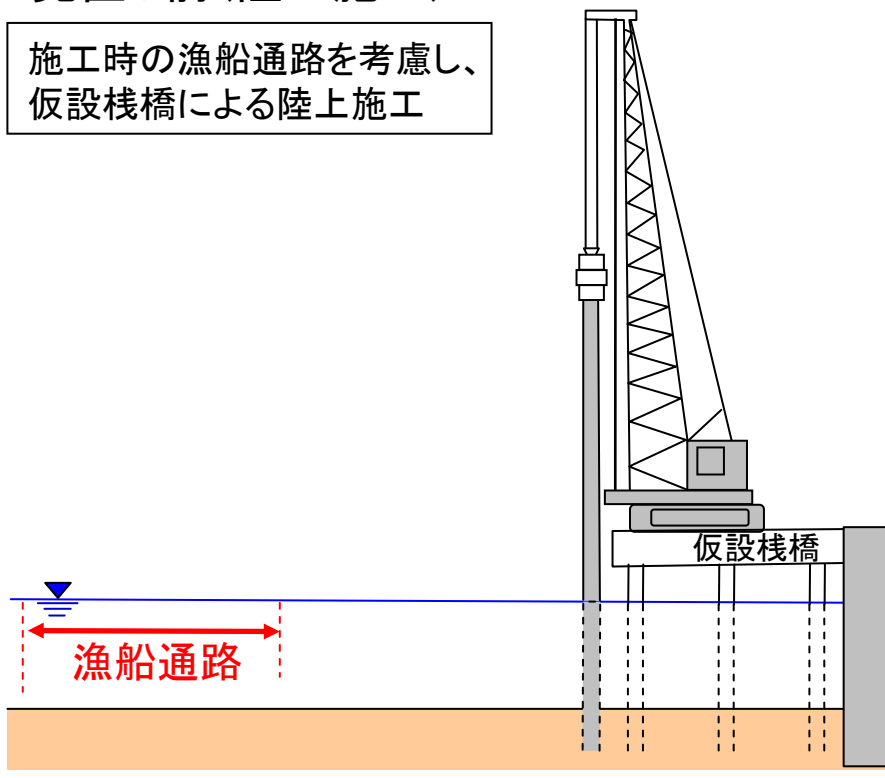
岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

■事業コストの削減

- ・ I 期橋梁部の鋼管矢板井筒基礎の施工方法について、施工時における周辺環境への影響や漁船の通路幅等を考慮し、仮設栈橋による陸上施工としていたが、施工方法の見直しについて関係者調整を実施した結果、海上施工が可能となった。
- ・これにより、約2億円(全体事業費の1%)のコスト縮減が可能となる。

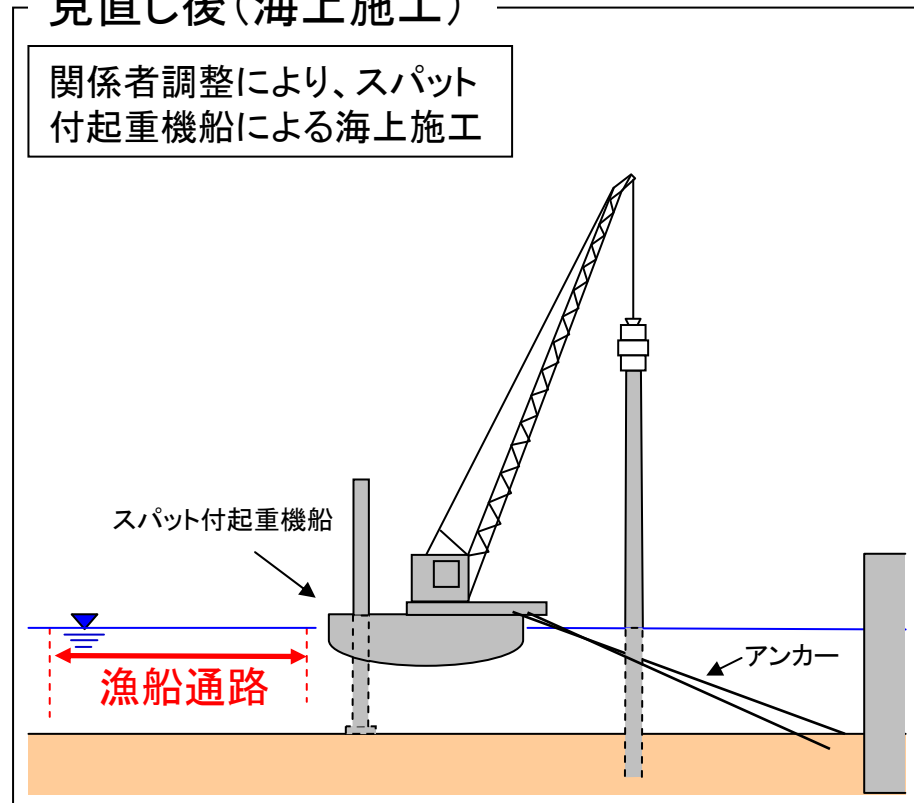
見直し前(陸上施工)

施工時の漁船通路を考慮し、
仮設栈橋による陸上施工



見直し後(海上施工)

関係者調整により、スパット
付起重機船による海上施工



9. 投資効果

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

■費用便益分析結果

項 目	事業全体	残事業
費用(C)	148億円	94億円
事業費	147億円	92億円
維持管理費	1億円	1億円
便益(B)	184億円	184億円
輸送時間削減便益	170億円	170億円
輸送費用削減便益	11億円	11億円
事故損失額削減便益	3億円	3億円
残存価値	1億円	1億円
純現在価値(B-C)	36億円	90億円
費用便益比(B/C)	1.2	2.0

※端数処理のため、各項目の金額の和は必ずしも合計とはならない。
※本表中の額は、平成23年度を基準年として現在価値化した後のものである。

■感度分析結果(B／Cによる分析)

要 因	事業全体		残事業	
	-10%	+10%	-10%	+10%
需要量	1.1	1.4	1.8	2.2
事業費	1.3	1.2	2.2	1.8
事業期間	1.2	1.3	1.9	2.0

費用便益分析の結果、

○純現在価値(B-C)= 36億円 ○費用便益比(B/C)= 1.2

となり、岩国港周辺の将来道路交通ネットワークにおいて、所要の投資効果があることが確認された。

10. 今後の対応方針(原案)

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

(1)再評価の視点

①事業の必要性等の視点

1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ◇平成17年3月に神戸航路、平成18年5月に韓国(釜山)航路が、コンテナ定期航路として開設。
- ◇平成23年7月、室の木埠頭岸壁(－12m)が供用開始。
- ◇平成24年度内に、岩国飛行場における民間航空再開予定。これに伴い交通量の増加が見込まれる。

2)事業の投資効果

費用便益比(B/C) = 1.2(事業全体) 2.0(残事業)

3)事業の進捗状況

- ◇総事業費：173億円(既投資額:50億円)
- ◇残事業費：123億円
- ◇事業進捗率：29% (平成23年度末時点)

②事業の進捗の見込み

- ◇平成32年度完了予定。

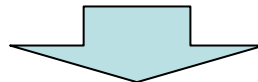
③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ◇既設構造物前面の海上橋脚基礎の施工に関して関係者調整をした結果、海上施工が可能となり、I期区間について、約2億円のコスト縮減。

(2)港湾管理者への意見照会結果

- ◇異存なし。引き続き、コストの縮減等を考慮の上、事業を進めていただきたい。

【今後の対応方針(原案)】



上記(1)、(2)の各視点により、効果が見込まれると判断でき、港湾利用者等からも早期完成が強く要望されていることから**継続が妥当**

＜参考資料＞

岩国港 装束～室の木地区
臨港道路整備事業

■ 前回評価時との比較(全体事業)

事項	前回評価	今回評価	変化要因
	H15新規事業採択	H23再評価	
事業施設	臨港道路	臨港道路	変更なし
計画交通量	約4800～8000台/日	約1500～6600台/日	取扱貨物の需要等及びセンサス年次等の見直し
事業期間	平成16年度～ 平成22年度	平成16年度～ 平成32年度	埋立計画の見直しによる法線、構造形式の変更等
総事業費 (現在価値化前)	144億円	173億円	土地利用変更に伴い、一部区間を橋梁形式へ変更
総費用(C)	119億円	148億円	上記事業費の見直し 現在価値化の基準年変更(H15→H23)
総便益(B)	281億円	184億円	計画交通量の見直し 現在価値化の基準年変更(H15→H23) 原単位の変更
費用対効果 (B/C)	2.4	1.2	

岩国港装束～室の木地区臨港道路整備事業
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

港湾（港湾整備事業）

事業評価カルテ(再評価)

平成 23 年度												
事業名(箇所名)	臨港道路整備事業 (岩国港 装束～室の木地区)					担当課	本省港湾局計画課			事業 主体	中国地方整備局	
						担当課長名	松原 裕					
実施箇所	カルテ表示項目											
	山口県岩国市											
	検索対象都道府県指定(複数可)											
	山口県											
該当基準	事業採択後、一定期間が経過している事業(経過措置)											
主な事業の諸元	臨港道路											
事業期間	事業採択	平成 16 年度	完了	平成 32 年度								
総事業費(億円)	173		残事業費(億円)	123								
目的・必要性	港湾における物流効率化を通じて、産業の立地競争力を確保するとともに、周辺環境の改善を図るため、岩国港の埠頭間を結ぶ臨港道路を整備する。											
便益の主な根拠	臨港道路の自動車交通の円滑化による効果 ・輸送時間短縮による輸送時間費用の削減 ・輸送費用縮減による輸送費用の削減 ・交通事故減少による事故損失額の削減 (臨港道路計画交通量(全線供用時):15百台/日～66百台/日)											
事業全体の投資効率性	基準年度	平成 23 年度										
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	184	C:総費用(億円)	148	全体B/C	1.2	B-C	36	EIRR (%)	6.0		
感度分析	B:総便益(億円)	184	C:総費用(億円)	94	継続B/C	2.0						
事業の効果等			事業全体のB/C				残事業のB/C					
	需 要 (-10%～+10%)		(1.1 ～ 1.4)				(1.8 ～ 2.2)					
	建 設 費 (+10%～-10%)		(1.2 ～ 1.3)				(1.8 ～ 2.2)					
	建設期間 (+10%～-10%)		(1.3 ～ 1.2)				(2.0 ～ 1.9)					
社会経済情勢等 の変化	岩国港の港湾関連交通の時間の短縮、費用の削減等を通じ、産業の立地競争力の確保と周辺的生活環境改善に寄与する。											
主な事業の 進捗状況	・平成17年3月に神戸航路、平成18年5月に韓国(釜山)航路が、コンテナ定期航路として開設。 ・平成23年7月、室の木埠頭岸壁(-12m)が供用開始。 ・平成24年度内に、岩国飛行場における民間航空再開予定。これに伴い交通量の増加が見込まれる。											
主な事業の 進捗の見込み	総事業費173億円、既投資額50億円 平成23年度末時点 事業進捗率29%											
コスト縮減や 代替案立案等の可 能性	平成32年度に完成予定。											
対応方針	既設構造物前面の海上橋脚基礎の施工に関して関係者調整をした結果、海上施工が可能となり、I 期区間について、約2億円のコスト縮減が可能となる。											
対応方針理由	継続											
貨幣換算が困難な 効果等による評価	事業の投資効果が確認され、港湾利用者等からも早期完成が強く要望されているため。											
	評価の観点		貨幣換算が困難な効果									
	産業競争力の強化	岩国港周辺における物流機能の効率化が促進され、地域産業の競争力の向上を通じ、企業の新たな投資、雇用の確保、税収の増加が期待される。										
環境	自動車交通円滑化の効果により、排出ガスの低減が図られる。											
	港湾関連車両の適切な通行ルートが確保され、住宅地への騒音や振動等が低減される。											

(岩国港)臨港道路 全体事業
費用便益分析シート(割引前)

※各年度の建設費より消費税額を控除している(平成9年度(1997)以降:5%)

年度	施設供 用期間	割 引 前							
		費用							純便益 (B-C)
		初期投資 費用	運営・維持 コスト	総費用(C)	輸送時間 削減便益	輸送費用 削減便益	事故損失 削減便益	残存価値	
2004		3.0		3.0					-3.0
2005		6.0		6.0					-6.0
2006		3.7		3.7					-3.7
2007		6.6		6.6					-6.6
2008		6.7		6.7					-6.7
2009		7.4		7.4					-7.4
2010		7.3		7.3					-7.3
2011		6.8		6.8					-6.8
2012		6.5		6.5					-6.5
2013		6.5		6.5					-6.5
2014		8.2		8.2					-8.2
2015		7.4		7.4				0.0	-7.4
2016	1	7.6	0.04	7.7	22.7	0.9	0.06	23.6	16.0
2017	2	19.0	0.04	19.1	22.7	0.9	0.06	23.7	4.6
2018	3	19.0	0.04	19.1	22.7	0.9	0.06	23.7	4.6
2019	4	21.6	0.04	21.6	22.8	0.9	0.06	23.7	2.1
2020	5	21.4	0.05	21.5	37.0	1.2	0.07	38.3	16.8
2021	6	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2022	7	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2023	8	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2024	9	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2025	10	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	5.9	5.8
2026	11	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	5.9	5.8
2027	12	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	5.9	5.9
2028	13	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	6.0	5.9
2029	14	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	6.0	5.9
2030	15	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	6.0	5.9
2031	16	0.0	0.1	0.1	5.3	0.5	0.2	5.9	5.9
2032	17	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2033	18	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2034	19	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.9	5.8
2035	20	0.0	0.1	0.1	5.2	0.5	0.2	5.8	5.7
2036	21	0.0	0.1	0.1	5.1	0.5	0.2	5.8	5.7
2037	22	0.0	0.1	0.1	5.1	0.5	0.2	5.8	5.7
2038	23	0.0	0.1	0.1	5.1	0.5	0.2	5.7	5.7
2039	24	0.0	0.1	0.1	5.1	0.5	0.2	5.7	5.6
2040	25	0.0	0.1	0.1	5.0	0.5	0.2	5.7	5.6
2041	26	0.0	0.1	0.1	5.0	0.5	0.2	5.7	5.6
2042	27	0.0	0.1	0.1	5.0	0.5	0.2	5.6	5.5
2043	28	0.0	0.1	0.1	5.0	0.5	0.2	5.6	5.5
2044	29	0.0	0.1	0.1	4.9	0.5	0.2	5.6	5.5
2045	30	0.0	0.1	0.1	4.9	0.5	0.2	5.5	5.5
2046	31	0.0	0.1	0.1	4.9	0.5	0.2	5.5	5.4
2047	32	0.0	0.1	0.1	4.9	0.5	0.2	5.5	5.4
2048	33	0.0	0.1	0.1	4.8	0.5	0.2	5.5	5.4
2049	34	0.0	0.1	0.1	4.8	0.5	0.2	5.4	5.3
2050	35	0.0	0.1	0.1	4.8	0.5	0.2	5.4	5.3
2051	36	0.0	0.1	0.1	4.8	0.5	0.2	5.4	5.3
2052	37	0.0	0.1	0.1	4.7	0.5	0.2	5.3	5.3
2053	38	0.0	0.1	0.1	4.7	0.5	0.2	5.3	5.2
2054	39	0.0	0.1	0.1	4.7	0.5	0.2	5.3	5.2
2055	40	0.0	0.1	0.1	4.7	0.5	0.2	5.3	5.2
2056	41	0.0	0.1	0.1	4.6	0.5	0.2	5.2	5.1
2057	42	0.0	0.1	0.1	4.6	0.4	0.2	5.2	5.1
2058	43	0.0	0.1	0.1	4.6	0.4	0.2	5.2	5.1
2059	44	0.0	0.1	0.1	4.5	0.4	0.1	5.1	5.1
2060	45	0.0	0.1	0.1	4.5	0.4	0.1	5.1	5.0
2061	46	0.0	0.1	0.1	4.5	0.4	0.1	5.1	5.0
2062	47	0.0	0.1	0.1	4.5	0.4	0.1	5.1	5.0
2063	48	0.0	0.1	0.1	4.4	0.4	0.1	5.0	4.9
2064	49	0.0	0.1	0.1	4.4	0.4	0.1	5.0	4.9
2065	50	0.0	0.1	0.1	4.4	0.4	0.1	4.1	9.0
合 計		164.8	4.0	168.8	349.5	26.0	7.7	4.1	387.3
									218.5

(岩国港)臨港道路 全体事業
費用便益分析シート(割引後)

EIRR=	6.0%	NPV=	36 億円
B/C=	1.2		

(億円)											
年度	施設供 用期間	社会的 割引率	建設デフ レータ	割 引 後							
				費用							純便益 (B-C)
				初期投資・ 更新投資	運営・維持 コスト	総費用(C)	輸送時間 削減便益	輸送費用 削減便益	事故損失 削減便益	残存価値	
2004		1.3	1.1	4.1	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.1
2005		1.3	1.1	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-8.0
2006		1.2	1.0	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.7
2007		1.2	1.0	7.8	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.8
2008		1.1	1.0	7.4	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.4
2009		1.1	1.0	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-8.0
2010		1.0	1.0	7.6	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.6
2011		1.0	1.0	6.8	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.8
2012		1.0	1.0	6.2	0.0	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.2
2013		0.9	1.0	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.0
2014		0.9	1.0	7.3	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-7.3
2015		0.9	1.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.3
2016	1	0.8	1.0	6.3	0.03	6.3	18.6	0.8	0.05	0.0	19.4
2017	2	0.8	1.0	15.1	0.03	15.1	17.9	0.7	0.05	0.0	18.7
2018	3	0.8	1.0	14.5	0.03	14.5	17.3	0.7	0.05	0.0	18.0
2019	4	0.7	1.0	15.8	0.03	15.8	16.6	0.7	0.04	0.0	17.4
2020	5	0.7	1.0	15.1	0.03	15.1	26.0	0.9	0.05	0.0	26.9
2021	6	0.7	1.0	0.0	0.1	0.1	3.5	0.3	0.12	0.0	4.0
2022	7	0.6	1.0	0.0	0.1	0.1	3.4	0.3	0.12	0.0	3.8
2023	8	0.6	1.0	0.0	0.1	0.1	3.3	0.3	0.11	0.0	3.7
2024	9	0.6	1.0	0.0	0.1	0.1	3.1	0.3	0.11	0.0	3.5
2025	10	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.3	0.10	0.0	3.4
2026	11	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.3	0.10	0.0	3.3
2027	12	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.3	0.10	0.0	3.2
2028	13	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.3	0.09	0.0	3.1
2029	14	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.2	0.09	0.0	2.9
2030	15	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.2	0.09	0.0	2.8
2031	16	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.2	0.08	0.0	2.7
2032	17	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.2	0.08	0.0	2.6
2033	18	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.2	0.07	0.0	2.5
2034	19	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.2	0.07	0.0	2.4
2035	20	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.2	0.07	0.0	2.3
2036	21	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.2	0.07	0.0	2.2
2037	22	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.2	0.06	0.0	2.1
2038	23	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.2	0.06	0.0	2.0
2039	24	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.2	0.06	0.0	1.9
2040	25	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.2	0.05	0.0	1.8
2041	26	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.1	0.05	0.0	1.7
2042	27	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.1	0.05	0.0	1.7
2043	28	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.1	0.05	0.0	1.6
2044	29	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.1	0.05	0.0	1.5
2045	30	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.1	0.04	0.0	1.5
2046	31	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1	0.04	0.0	1.4
2047	32	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1	0.04	0.0	1.3
2048	33	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.1	0.04	0.0	1.3
2049	34	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.1	0.04	0.0	1.2
2050	35	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.1	0.03	0.0	1.2
2051	36	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.1	0.03	0.0	1.1
2052	37	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	0.03	0.0	1.1
2053	38	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	0.03	0.0	1.0
2054	39	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	0.03	0.0	1.0
2055	40	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1	0.03	0.0	0.9
2056	41	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1	0.03	0.0	0.9
2057	42	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.1	0.02	0.0	0.8
2058	43	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0.02	0.0	0.8
2059	44	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0.02	0.0	0.8
2060	45	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.1	0.02	0.0	0.7
2061	46	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.02	0.0	0.7
2062	47	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.02	0.0	0.7
2063	48	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.02	0.0	0.6
2064	49	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.02	0.0	0.6
2065	50	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.0	0.5	1.1
合 計				146.87	1.4	148.3	170.1	10.7	2.7	0.5	184.0

便益の算定表

箇所名: 岩国港装束～室の木地区臨港道路整備事業

	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				①輸送時間削減便益(億円)					②輸送費用削減便益(億円)					③事故損失 削減便益 (億円)	合計 (億円)
		乗用車類 A	小型貨物車 B	普通貨物車 C	全 車 D	乗用車 E	小型貨物 F	普通貨物 G	トレーラ H	① 計 I=E+F+G+H	乗用車 J	小型貨物 K	普通貨物 L	トレーラ M	② 計 N=J+K+L+ M	③ 計 O	便益合計 Q=I+N+O+P
供用開始年次	H28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99868	11.49	3.48	7.15	0.54	22.65	0.62	0.03	0.20	0.08	0.92	0.06	23.64
1年目	H29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99868	11.44	3.46	7.24	0.55	22.69	0.61	0.03	0.20	0.08	0.92	0.06	23.67
2年目	H30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99868	11.40	3.44	7.33	0.56	22.73	0.61	0.03	0.20	0.08	0.92	0.06	23.71
3年目	H31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	11.36	3.42	7.42	0.56	22.76	0.61	0.03	0.21	0.08	0.92	0.06	23.75
4年目	H32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	18.70	5.87	11.83	0.58	36.99	0.89	0.02	0.23	0.08	1.22	0.07	38.28
5年目	H33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	2.99	0.80	1.18	0.24	5.22	0.24	0.04	0.15	0.05	0.48	0.18	5.87
6年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	2.98	0.80	1.20	0.24	5.22	0.24	0.04	0.15	0.05	0.48	0.18	5.88
7年目	H35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	2.97	0.79	1.22	0.25	5.23	0.24	0.04	0.15	0.05	0.48	0.18	5.90
8年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	2.97	0.79	1.24	0.25	5.24	0.23	0.04	0.15	0.05	0.48	0.18	5.91
9年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	2.96	0.78	1.26	0.25	5.25	0.23	0.04	0.15	0.05	0.49	0.18	5.92
10年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	2.95	0.78	1.27	0.26	5.26	0.23	0.04	0.16	0.06	0.49	0.18	5.93
11年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	2.94	0.78	1.29	0.26	5.27	0.23	0.04	0.16	0.06	0.49	0.18	5.94
12年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	2.93	0.77	1.31	0.26	5.28	0.23	0.04	0.16	0.06	0.49	0.18	5.95
13年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	2.92	0.77	1.33	0.27	5.29	0.23	0.04	0.16	0.06	0.49	0.18	5.96
14年目	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	2.91	0.76	1.35	0.27	5.30	0.23	0.04	0.17	0.06	0.50	0.18	5.97
15年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	2.89	0.76	1.35	0.27	5.27	0.23	0.04	0.17	0.06	0.50	0.18	5.94
16年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	2.87	0.75	1.35	0.27	5.24	0.23	0.04	0.17	0.06	0.49	0.18	5.92
17年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	2.85	0.75	1.35	0.27	5.22	0.22	0.04	0.17	0.06	0.49	0.18	5.89
18年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	2.82	0.74	1.35	0.27	5.19	0.22	0.04	0.17	0.06	0.49	0.18	5.86
19年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	2.80	0.73	1.36	0.27	5.17	0.22	0.04	0.17	0.06	0.49	0.17	5.83
20年目	H48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	2.78	0.73	1.36	0.27	5.14	0.22	0.04	0.17	0.06	0.49	0.17	5.80
21年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	2.76	0.72	1.36	0.27	5.12	0.22	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.77
22年目	H50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	2.73	0.72	1.36	0.27	5.09	0.22	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.74
23年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	2.71	0.71	1.36	0.28	5.06	0.21	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.72
24年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	2.69	0.71	1.36	0.28	5.04	0.21	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.69
25年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	2.67	0.70	1.37	0.28	5.01	0.21	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.66
26年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	2.65	0.70	1.37	0.28	4.99	0.21	0.04	0.17	0.06	0.48	0.17	5.63
27年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	2.62	0.69	1.37	0.28	4.96	0.21	0.04	0.17	0.06	0.47	0.17	5.60
28年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	2.60	0.69	1.37	0.28	4.93	0.21	0.04	0.17	0.06	0.47	0.17	5.57
29年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	2.58	0.68	1.37	0.28	4.91	0.20	0.04	0.17	0.06	0.47	0.16	5.54
30年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	2.56	0.68	1.37	0.28	4.88	0.20	0.04	0.17	0.06	0.47	0.16	5.51
31年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	2.53	0.67	1.38	0.28	4.86	0.20	0.04	0.17	0.06	0.47	0.16	5.49
32年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	2.51	0.67	1.38	0.28	4.83	0.20	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.46
33年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	2.49	0.66	1.38	0.28	4.81	0.20	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.43
34年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	2.47	0.66	1.38	0.28	4.78	0.19	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.40
35年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	2.44	0.65	1.38	0.28	4.75	0.19	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.37
36年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	2.42	0.65	1.38	0.28	4.73	0.19	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.34
37年目	H65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	2.40	0.64	1.38	0.28	4.70	0.19	0.04	0.17	0.06	0.46	0.16	5.31
38年目	H66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	2.38	0.63	1.39	0.28	4.68	0.19	0.04	0.17	0.06	0.45	0.15	5.29
39年目	H67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	2.35	0.63	1.39	0.28	4.65	0.19	0.04	0.17	0.06	0.45	0.15	5.26
40年目	H68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	2.33	0.62	1.39	0.28	4.63	0.18	0.03	0.17	0.06	0.45	0.15	5.23
41年目	H69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	2.31	0.62	1.39	0.28	4.60	0.18	0.03	0.17	0.06	0.45	0.15	5.20
42年目	H70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	2.29	0.61	1.39	0.28	4.57	0.18	0.03	0.17	0.06	0.45	0.15	5.17
43年目	H71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	2.26	0.61	1.39	0.28	4.55	0.18	0.03	0.17	0.06	0.44	0.15	5.14
44年目	H72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	2.24	0.60	1.40	0.28	4.52	0.18	0.03	0.17	0.06	0.44	0.15	5.11
45年目	H73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	2.22	0.60	1.40	0.28	4.50	0.18	0.03	0.17	0.06	0.44	0.15	5.09
46年目	H74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	2.20	0.59	1.40	0.28	4.47	0.17	0.03	0.17	0.06	0.44	0.15	5.06
47年目	H75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	2.17	0.59	1.40	0.28	4.45	0.17	0.03	0.17	0.06	0.44	0.15	5.03
48年目	H76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	2.15	0.58	1.40	0.28	4.42	0.17	0.03	0.17	0.06	0.44	0.14	5.00
49年目	H77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	2.13	0.58	1.40	0.28	4.39	0.17	0.03	0.17	0.06	0.43	0.14	4.97
合計						181.8	50.8	101.8	15.1	349.5	12.6	1.9	8.5	3.0	26.0	7.7	383.3

岩国港装束～室の木地区臨港道路整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送・移動時間費用削減便益	43.7	千円／台・年	輸送・移動時間短縮による輸送・移動時間費用削減便益	5.3	億円/年
利用者便益	輸送・移動費用削減便益	2.9	千円／台・年	輸送・移動費用縮減による輸送・移動費用削減便益	0.5	億円/年
利用者便益	交通事故損失額削減便益	1.1	千円／台・年	交通事故減少による交通事故損失額削減便益	0.2	億円/年

費用

費用項目	建設費、管理運営費
事業の対象施設	臨港道路

〔自動車交通円滑化効果便益〕

臨港道路の整備により、H42将来道路交通ネットワークにおける輸送・移動時間費用、輸送・移動費用及び交通事故損失額の軽減効果が発現される。

なお、「港湾投資の評価に関する解説書2011 港湾事業評価手法に関する研究委員会編」を以下「解説書」という。

〔自動車交通円滑化効果便益〕(Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)→

597 百万円/年

Ⅰ. 輸送・移動時間費用削減便益

項目	without時	with時	備考
① 区間距離(km)	74	74	便益対象エリア総延長
② 交通量(台/日)	10,058	10,023	シミュレーション結果より
③ 平均走行速度(km/時)	23.8	24.4	
④ 総走行台キロ(千台・KM/日)	739	737	
⑤ 輸送時間原単位(円/台・分)	44～62	44～62	解説書より
⑥ 輸送時間費用(百万円/年)	26,449	25,919	③×①/②×④(※)
Ⅰ. 輸送・移動時間費用削減(百万円)	530		

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

Ⅱ. 輸送・移動費用削減便益

項目	without時	with時	備考
① 区間距離(km)	74	74	便益対象エリア総延長
② 交通量(台/日)	10,058	10,023	シミュレーション結果より
③ 平均走行速度(km/時)	23.8	24.4	
④ 総走行台キロ(千台・KM/日)	739	737	
⑤ 輸送費用原単位(円/台・分)	9.00～134.00	9.00～134.00	解説書より
⑥ 輸送費用貨幣価値(百万円/年)	5,978	5,928	③×①/②×④(※)
Ⅱ. 輸送・移動費用削減(百万円)	50		

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

Ⅲ. 交通事故損失額削減便益

項目	without時	with時	備考
① 区間距離(km)	74	74	便益対象エリア総延長
② 係数1	350～2110	350～2110	シミュレーション結果より
③ 係数2	0～650	0～650	
④ 交通量(台/日)	10,058	10,023	
⑤ 総走行台キロ(千台・KM/日)	739	737	解説書: 交通事故損失算定式より
⑥ 総通過交差点数(千台・箇所/日)	779	779	解説書: 交通事故損失算定式より
⑦ 交通事故損失貨幣価値(百万円/年)	1,951	1,933	⑤×③+⑥×④(※)
Ⅲ. 交通事故損失削減額(百万円)	18		

※上記は全リンク分の合算値で示しているが、検討に当たっては対象となるリンク、車種別に計算を行っているため、計算式に一致しない。

〔残存価値〕

プロジェクトの供用期間の終了とともに、その時点で残っている資産を残存価値として精算されると仮定する。

本プロジェクトにおいて、道路用地の残存価値を計上する。

供用期間の終了とともに、4.1億円の残存価値が発生する。

【残存価値】

項 目		with時	備考
《道路用地》			
①	道路用地面積(m2)	13,532	
②	土地単価(円/m2)	30,000	国土交通省地価公示
③	残存価値(億円)	4.1	①×②/100,000,000

岩国港装束～室の木地区臨港道路整備事業

【再評価】

(1)事業費

項目		数量	全体事業費 (億円)	残事業費 (億円)
工事費			119.7	87.1
道路			119.7	87.1
	道路工	1 式	41.0	41.0
	橋梁工	1 式	78.7	46.2
用地費及補償費			31.3	27.0
	用地補償費	1 式	31.3	27.0
間接経費			22.1	9.0
合計			173.0	123.2

※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

(2)管理運営費

項目	数量	金額 (億円／年)
管理運営費	1 式	0.09

※解説書より

岩国港装束～室の木地区臨港道路整備事業
〔山口県への意見照会と回答〕

国中整企画第71号
国中整港計第40号
平成23年11月11日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年12月6日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年11月28日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【港湾事業】

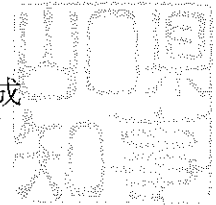
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
岩国港装束～室の木地区 臨港道路整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

平23技術管理 第 469 号
平成23年(2011年)11月28日

中国地方整備局長 様

山口県知事 二井 関成

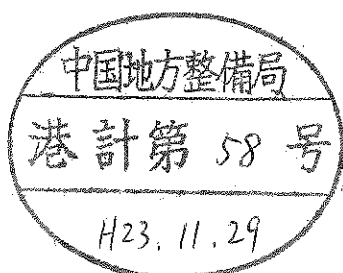


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成23年11月11日付け国中整企画第71号で意見照会がありましたこのことにつ
いて、下記のとおり回答します。

記

事業名	「対応方針(原案)」案	左に対する意見
岩国港装束～室の木地区 臨港道路整備事業	継続	異存なし
【意見】 引き続き、コストの縮減等を考慮の上、事業を進めていただきたい。		



担 当
土木建築部技術管理課
企画班 田中 英樹
TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669